

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由		
家計動向 関連 (北関東)	良くなる	商店街（代表者）	・桜のシーズンを迎えるにあたり、観光バスを中心に交通渋滞は必至である。		
		コンビニ（経営者）	・毎年4～5月は天候が良くなり、催し物が多くなって人々の様子も活発になるので、良くなる。		
		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・季節の変わり目ということもあり、亡くなる方が増える。また、家族や近親者で葬儀をとり行いたいという方が増えてきている。		
やや良くなる		商店街（代表者）	・景気が良いと言われている割には良くなかったが、そうはいっても給料もいくらか上がったという話も聞くので、だんだん良くなるのではないかと。		
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・季節も良くなりイベント等、積極的に行動すれば、客の反応も上向いてくるのではないかと思う。		
		百貨店（店長）	・春に近づき、気温が上がってくるため。		
		スーパー（商品部担当）	・行政での観光誘致活動、集客目標数値、活動目標などを踏まえ、期待も込めてやや良くなると回答した。		
		スーパー（副店長）	・雪国に春が訪れ、今年は地元の名刹の7年に1度の大祭もあり、地域に活気が出るとみられる。原油安の影響も、生活に大きな好影響となっている。		
		コンビニ（経営者）	・今年は大河ドラマの地元ということで、ある程度観光客の増加が見込める。地元は大分盛り上がっているため、業績も上がっていく。		
		コンビニ（経営者）	・2月初めに道路がインターより開通し、交通量が少しずつ増えているので、客数もそれに応じて伸びていく。		
		コンビニ（店長）	・現状があまりにも悪すぎるので、幾分期待している。		
		衣料品専門店（統括）	・客の様子、動きも同じだが、春祭りや春の行事に向けてやや準備に入ってきているような動きが出ている。今後暖かくなり、祭り等の動きが出てくれば良いかなと思っている。		
		住関連専門店（仕入担当）	・春の訪れが早まりそうで、園芸やレジャーなどの動きが期待できる。		
		一般レストラン（経営者）	・客単価が下がっていないため、これからの客の動きに期待している。		
		スナック（経営者）	・前月と比べて今月の方が客が元気になっているので、このまま上向きになってほしい。		
		都市型ホテル（スタッフ）	・2～3か月先になると信州も非常に暖かい日差しが立ち込めて春らしくなり、人もうきうきと街を歩いて表に出ることが多くなるので、景気が回復していく。		
		都市型ホテル（スタッフ）	・5月はゴールデンウィーク明けの需要が気になるころではあるが、3～4月は順調に売上が伸びている。		
		都市型ホテル（副支配人）	・3月は毎年繁忙月となるが、現時点で既に例年以上の予約状況で推移している。4月は募集型の団体が多く不透明ではあるが、ゴールデンウィークに向けて盛り上げていきたい。		
		旅行代理店（所長）	・団体需要は期待にはまだ遠いが、個人旅行については伸びが期待できる。特に、ゴールデンウィークは2日休むことにより10連休となり、3連休が2回含まれるので、長期、短期旅行いずれのパターンでの需要も期待感が高い。		
		旅行代理店（従業員）	・ガソリン代が下がっているため。		
		タクシー運転手	・3～4月は歓送迎会の時期なので、悪いなりに多少は動きがあるとみられる。		
		テーマパーク（職員）	・早春になることや、例年よりも暖かな日が多いなどの長期予報が出ているからである。		
		ゴルフ場（支配人）	・予約状況は伸びている。やはり暖かくなるにつれ、プレーヤーは外で体を動かしたくなっているようである。健康寿命を延ばす意味でも、ゴルフを長く続けて欲しい。		
		ゴルフ場（総務部長）	・4月の来場者の予約状況は、順調に推移している。		
		変わらない		商店街（代表者）	・卒業、入学そして行楽シーズンということもあり、貯蓄より消費に回って、景気が好転することを期待したい。
				一般小売店〔精肉〕（経営者）	・毎年のことだが暖かさが続かないと活気も出て来ないため、春が待ち遠しい。また、今年は選挙が控えているので、人の動きが悪い。
				一般小売店〔家電〕（経営者）	・年度末、新年度に向けて商品の動きを期待したいが消費意欲は見えてこない。年々、大学等への進学の際に家電が必要なくなり、季節商材も含め、時期的な売上を伸ばしていくことが難しくなっている。
				百貨店（営業担当）	・株価は乱高下しており、石油も安定はしているがやや高止まりになってくる感じなので、特段良くなる要素が見つからない。

百貨店（営業担当）	・全体的に低調な消費傾向は変わらないが、ガソリン価格が下がってきているので今後の客足に期待したい。プラス要素としてはこの程度しか見当たらず、今後2～3か月先も変わらない。
百貨店（販売促進担当）	・婦人、紳士衣料の不調が継続している。春商戦の立ち上がりを見ても、この傾向は変わっておらず、当分の間継続するとみられる。
スーパー（経営者）	・大きな変動はない。
スーパー（総務担当）	・社会状況も特に変わるような要因がなく、店の状況も前年の数字はなんとかクリアしており、食品と日用雑貨が好調である。その反面、その他は厳しく、余計な物は買わないという消費者意識がうかがえる。
コンビニ（経営者）	・現内閣もごたごたしており、好材料が見当たらない。
コンビニ（店長）	・前年と違って工事関係がないので、前年比では大分落ちているが、それがなければ客単価は落ちていないので、景気が大きく落ちていくという状況ではない。
衣料品専門店（販売担当）	・時期的には十分人出が良くなる時期になるが、それでも今の景気から良くなる要素が見当たらないという実感である。残念ながら今しばらく停滞が続くのではないかとみている。
家電量販店（店長）	・転勤や新入学など移動に伴う春の需要が年々小さくなってきている。そのため、単価を上げて帳尻を合わせている状況なので、人口増加が望まれる。
乗用車販売店（経営者）	・自動車販売は全国的に減少しており、税制の優遇も期待できないことから、販売が上向き要素は見つからない。
乗用車販売店（販売担当）	・これ以上策はない。万策尽き果てたという感じである。何をやっても売れないので、もう景気が良くなる可能性はない。悪くなる一方だが、これ以上悪くならないで欲しいと願っている。
乗用車販売店（販売担当）	・ここ何年か営業関係の販売車数の落ち込みがひどいので、これから先も大して希望を持ってない。そのため、当社では車両展示場を従来の半分くらいのスペースに縮小して、修理部門の方に力を入れるように少しずつ方向転換をしている。とにかく販売台数が落ち込んでいるので、当社の景気は上向きにならない。
乗用車販売店（管理担当）	・日銀のマイナス金利施策が、為替や株価、春闘といった今後の景気にどのような影響を起すか不透明であり、これにより消費は停滞する。
自動車備品販売店（経営者）	・身の回りでは特に良くなる材料はなく、消費税増税の不安感があり、若干財布のひもが固くなっている。良くも悪くも自分の努力でしていくしかない。
住関連専門店（経営者）	・株価に象徴されるように、経済に対する不安感があるようで、消費税増税が迫っている警戒感から、必要最小限のものしか購入しないという消費に対する客の姿勢を感じている。
住関連専門店（店長）	・景気が良くなり、売上が上がるような材料はない。3～4月は基本的に上昇するので、どれだけ園芸用品やレジャー、自転車等の商材の売上を上げられるかがポイントである。
一般レストラン（経営者）	・政府が地方創生政策を進めているようだが、なかなかその結果が表れていない。一極集中でないが、東京だけが繁栄して、他県や地方はまだ景気が回復傾向にない。
一般レストラン（経営者）	・厳しい状況は相変わらずだが、現状以上に悪くなっていく要素もないので、現状維持で変わらない。
スナック（経営者）	・変わらないという答えだが、とにかくもうこれ以上悪くならないように、変わらないで欲しいという要望である。株をやっているわけではないが、株の下落や金利などいろいろなこと、小規模商店はととても大変である。
観光型旅館（経営者）	・今年の春は大河ドラマ放送の影響で人の動きは良い。今月も比較的良好な状況なので、良いまま現状維持と考えている。
都市型ホテル（営業担当）	・1年間の中で4月は稼働率が上がる月である。法人の新人研修等で各ホテルの稼働率は上がるが、これは景気が上向いたというよりは前年同様の稼働増である。良くなる要素としては現状とあまり変わらない。
タクシー（経営者）	・夜の動きが悪いので、この先も変わらない。
通信会社（経営者）	・進学、新社会人の時期であるが、通信業界の競争が激しく、状況は厳しい。
通信会社（経営者）	・今年になってからの株価の下落と日銀のマイナス金利等の反応は、半年後でないとは分からない。
通信会社（営業担当）	・当面今の状況が続く。動向がつかみにくいこともあり、全体の動きが鈍くなる可能性が高い。
遊園地（職員）	・春に向け、花見目的の客が着実に増えると想定しているが、景気に大きな影響が出るとは考えていない。

	美容室（経営者）	・これから中学、高校の卒業式が続くため、来客数が徐々に増加する予定である。
	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・行政、団体、商工機関を始め、街の商店会などが、もがき苦しみながら改善策を図っているが、地方は大方の産業が疲弊しているため効果がない。自動車整備業も、板金塗装業などは特に保険会社の事故割り引き制度施行後、入庫が激減し、零細業者には死活問題である。2～3か月では良くなるとは思えない。
	その他サービス〔立体駐車場〕（従業員）	・販売量、来客数共に横ばいが続く。予約状況がすべて横ばいの上、キャンペーン商品などがあっても飛びつかず、買い控えしているのでは、変わらない。
	その他サービス〔イベント企画〕（職員）	・最近の経済情勢も足踏み状態であり、この先も変わらない。
	住宅販売会社（従業員）	・別荘の解体数が新規建築数を大幅に上回っている。
	住宅販売会社（経営者）	・特に変化が見込まれる要因がない限り、同じような状況が続く。
	住宅販売会社（経営者）	・地方のため、地価の下落とまではいかないが、まだ下がり気味などところがある。少しも上向きになっていない。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・地方創生で活力を付けると、政府がかけ声をかけているが、小売店の現状はひどくなる一方である。
	一般小売店〔衣料〕（経営者）	・当店は学校関係の販売をしているので、1～2月は来春進学する学生の制服等が多少動いているが、その他は動いていないので悪くなっている。
	一般小売店〔青果〕（店長）	・市場や会議所等でいろんな人と話をすると、景気が良くなっていると実感していると、まず聞いたことがない。地元大企業も地元工場も良くないようで、良くなる気配がうかがえない。
	百貨店（店長）	・新年からの株価下落の影響もあるのだろうか、上得意の購買意欲も落ちている。また、地方ではインバウンドもあまりない。
	スーパー（統括）	・政治、経済情勢の変化が大きく、今はなんとなく心配で衝動買い等を抑制して財布のひもを締めるという消費傾向が、1人当たり買上点数の減少や客単価低下に顕在化し始めて来ている。先行きの消費の先細りが懸念される。
	コンビニ（経営者）	・日銀のマイナス金利により、株価が下がっている。それに輪をかけるように、天候も不安定で、降雪が多い。天候不順、株価の下落、客の買い渋りなどが目立っているため、先行きの景気は少し悪くなる。
	コンビニ（経営者）	・近隣の工場が業績不振で、競合店もできるため、やや悪くなる。
	乗用車販売店（経営者）	・4月以降に受注が減るためである。
	乗用車販売店（経営者）	・2～3月は期末のため車検台数もそこそこにあるが、これからの3か月先は少し読み難い。円高に転じてきたので輸出企業の多い当地方は名目上の為替差益は少なくなるが、庶民の消費意欲は高まって欲しい。
	一般レストラン（経営者）	・物価の上昇に対し予算は上がっていないので、工夫しても利益を出すのがかなり厳しくなっている。根付いてしまった世知辛い感は抜けていない。
	旅行代理店（副支店長）	・今後もインバウンドの旅行者は伸びるが、邦人の国内需要が落ち込む傾向にある。先行きの受注状況や企業の社員旅行、企業出張などの状況を見る限りでは景気低迷が懸念される。
	タクシー運転手	・消費税の問題やマイナンバーの関係で、これから財布のひもを引き締めるのではないかとされる。
	タクシー（役員）	・今後の景気に対してマイナス要因が多くあるため。
	通信会社（社員）	・事業者からの手数料が減少するため。
	観光名所（職員）	・春から観光シーズンとなるが、今年は北海道新幹線の開業による他方への旅客の流れを懸念している。
	競輪場（職員）	・特別競輪、記念競輪レース共に売上がなかなか目標額に達しないため。
	美容室（経営者）	・美容室に来る客でさえ、政治を話題にすることも多くなっている。地方の冷え切った景気はどうかしてほしい、と口にする客もいる。銀行から融資を受けようとする経営者は、返済に不安を感じている。この町でも老舗と思える店舗がいつの間にか店を閉じている。決して他人事では済まされない。
その他サービス〔貸切バス〕（経営者）	・名刹の7年に1度の大祭が4～5月にあるため、旅行に行かなくなる。	
設計事務所（所長）	・どうも様子見の傾向なのか、確実な物件が入ってこない。	

	悪くなる	一般小売店〔乳業〕 (経営者) 通信会社(経営者)	・ 末端の消費意欲を向上させるような好材料がほとんどない。 ・ 先行き不安から消費者の購買意欲がなくなっている。2%の物価上昇を目標と言いながら、規制緩和で市場競争をあおるのはどうかと思う。結果、企業も先行き不安から設備投資ができない。そこで働く労働者も同様に将来に安心感が持てないから物を買わない、という負の連鎖が続いている。今の世の中には、一生懸命働けば家を建てられ家族を持てる、という安心感がない。結局、誘導により円安になった分、一時的に一部の企業が潤っただけではないか。出口を考えると恐ろしい。食べていけるという安心感こそ1番必要である。
企業 動向 関連 (北関東)	良くなる	輸送用機械器具製造業 (経営者) その他製造業〔環境機器〕 (経営者)	・ 輸出が増加している。 ・ 自社の太陽光発電が合計3.5メガ、自社開発60%の連携で、3本目の事業柱として順調に推移している。廃家電プラントのフロン回収機関連の納入は一巡しているため、全体としては横ばいである。
	やや良くなる	金属製品製造業(経営者) 広告代理店(営業担当) 経営コンサルタント その他サービス業〔情報サービス〕(経営者)	・ 営業活動を行うとそれなりに仕事が集まるため。 ・ 新年度の販促予算が若干増えている。ツールを新しく作成したり、ホームページを作り直すなど、引き合いが多くなっている。 ・ 年度切替の移動や生活環境の変化に伴い、家計消費が多少盛り上がりが見込まれる。 ・ 引き合い、商談件数が増加しており、収益の改善が図られると期待している。
	変わらない	食料品製造業(製造担当) 食料品製造業(営業統括) 化学工業(経営者) 窯業・土石製品製造業(経営者) 窯業・土石製品製造業(総務担当) 金属製品製造業(経営者) 一般機械器具製造業(経営者) 電気機械器具製造業(経営者) 電気機械器具製造業(営業担当) 輸送用機械器具製造業(経営者) その他製造業〔消防用品〕(営業担当) 輸送業(営業担当) 通信業(経営者) 金融業(調査担当) 金融業(経営企画担当) 金融業(役員) 不動産業(管理担当)	・ 10円、20円の差が大きく出ている。客は少しでも安い方へなびいている。景気は言うほど良くない。しかし、安売りは自分の首を絞めるだけなので、体力戦になる。 ・ ワインの消費が、国内ばかりでなく東南アジア諸国へのJETRO等による輸出促進の話があり、増加が予想される。円の動向や経済の推移、チリ等の低コストの輸入ワインによる攻勢もあり、今後の動きが不透明な点もある。 ・ 建設関係が上向くのではないかと期待があるが、具体的な情報がなく、変わらず推移するとみられる。 ・ 現状のまま推移するか、やや上向きになる可能性がある。 ・ 例年に比べ、大分落ち込んでいる。 ・ なかなか仕事が多くなることはない。先行きも不明で、このままの状態は困るが、変わらなそうである。 ・ 客先の情報から、大幅な減産、増産の計画はなく、比較的堅調に推移する見込みである。 ・ 設備が古くなっているため更新したいが、先行きが不安定のため、ちゅうちょしている。 ・ 引き合いが少ないため、受注競争が激しく、内容的にも厳しい状況が続いている。 ・ この1~2か月、取引先、販売量の状況はまずまずであるが、2~3か月先は変わらないかやや悪いくらいとみられる。 ・ しばらくはこのまま推移すると考えるからである。 ・ ネット通販等の商品物量は年々伸びているが、時期的な引越依頼については、企業側も費用負担が少なく済むように人事異動も減っており、合わせて引越依頼も減ってきている。 ・ 今のところ変わる要素がない。 ・ 改善に向かう材料が少なく、足踏み状況が続くとみられる。 ・ 中国経済が不安定の上、原油安もあり景況感は改善しない。 ・ 生産量が上がった、賃金が上昇しているわけではないので、地域では底上げができず、最終需要も喚起できない。 ・ 今年も年度末の予算調整と思われる業務がいくつかあり、見積等を提出していたり、建物の建替えに伴った新規業務の話も来ているが、実現可能性がまだ見通せず、来年度の契約更改案件も受注価格の引き下げ要請が来ているため、前年比横ばいではないかと見込んでいる。

		新聞販売店 [広告] (総務担当)	・週3日発行の有料地域紙では、広告集稿が厳しくなっている。広告単価も低く、企画物や定期出稿していた店でも断り文句を聞く機会が増え、企画物がまとまらないケースも出ている。
		司法書士	・低位安定といった状態がまだ続きそうである。
		社会保険労務士	・車社会の地方は原油安で助かっているはずだが、消費はそれほど上向いていない。
やや悪くなる		一般機械器具製造業 (経営者)	・毎月受注量は微減傾向にあり、増量の計画はない。1年前より始めた新規取引先の開拓は、何社か引き合いが来始めたので、なんとか新規受注につなげたい。
		その他製造業 [宝石・貴金属] (経営者)	・国内の景況感が回復せず、売上の低迷が続いている。春先用の企画商品を探している会社もあるので、回復に向かってくれればと期待している。業界としては、3月の香港での展示会での中国の顧客動向が鍵となる。来客数、購入が増えれば明るい兆しがみえるかもしれない。
		建設業 (経営者)	・公共工事は4～5月の発注が極端に少ない。
		建設業 (開発担当)	・現政権のもと2年連続で前年増であった発注額が、今年は前年比8%減であり、当社も10%減となっている。また、2020年の東京オリンピックで東京は建設ラッシュと好景気だが、地方は元気がない。東京の好景気のために、建設業では材料費、人件費が高騰してしまい、経営は厳しい。
		建設業 (総務担当)	・災害復旧工事以外は、動きがとても少ないので、先行きが大変不安である。
		不動産業 (経営者)	・二極化が今後も進むように見受けられる。
悪くなる		出版・印刷・同関連産業 (経営者)	・毎月資金繰りが大変である。
		電気機械器具製造業 (経営者)	・造船の関係の仕事をやっているが、その仕事はほとんどなくなってきた。部店の売上に占める割合が3～4割の仕事がゼロになったということで、相当厳しい状況である。
		電気機械器具製造業 (経営者)	・取引先より、4月以降の受注が芳しくないので早めの生産調整をするから協力願いたいとの会議が行われた。
雇用 関連 (北関東)	良くなる	—	—
	やや良くなる	人材派遣会社 (経営者)	・春先だと新入学、新学期に向けての春物商材、進学や転勤等で家電や衣料が伸びてくる。また、生産関係も徐々に機械や電子関連が伸びていく。新製品等も出てくるので、その辺が伸びるとみられる。あとは新年度に向けての土木建築、住宅なども動き始める。
	変わらない	人材派遣会社 (経営者)	・こここのところ、あまり良い話も悪い話もなく、あまり変わらない。
		人材派遣会社 (営業担当)	・動かなくても携帯など経費がかかる世の中であり、給与が上がることもないため、消費に回らないのが現実である。
		求人情報誌製作会社 (経営者)	・新年度に向けてこれから募集する企業も例年同様に増加してくるが、まだ景気が不安定なために正社員募集は少なく、パート、契約社員の募集が多い。
		職業安定所 (職員)	・求人数の増加傾向がやや収まっている。
		職業安定所 (職員)	・管内の主要企業に景況アンケートを行なったところ、今後の見通しとして、業種間でばらつきはあるが横ばいで推移すると予想した企業が多かった。前年同時期と比較すると、名刺のご開帳、新幹線効果のあった前年と比べ減少としている企業が多い。
		学校 [専門学校] (副校長)	・職種に偏りがあるのは変わらない。この時期、補充という意味も含め求人職種が増える傾向があるが、内部での配置転換などでまかない、新規採用をしていないようである。
	やや悪くなる	人材派遣会社 (管理担当)	・携帯電話の製造ラインが集約されることになり、製造派遣が減少するため、やや悪くなる。
		職業安定所 (職員)	・製造業において、離職を伴わない再編整理が行われたこともあり、今後もその動向に注視するとともに予断を許さない状況である。
悪くなる	○	○	